

アートフェア東京 2012 プレスリリース Vol.1.1

2012年2月



Main Sponsor
Deutsche Bank Group



アートフェア東京2012 3月30日（金）～ 4月1日（日）

東京国際フォーラム 展示ホール

ファーストチョイス、オープニングプレビューは3月29日（木）※ご招待のみ

目次

アートフェア東京実行委員会 ご挨拶	1
メインスポンサー ご挨拶	2
開催概要	3
新たな取り組み／新プログラム	4
会期中プログラム	5
関連／参加プログラム	6
資料1：広報用画像	7
資料2：出展者一覧	8
資料3：フロアマップ	9
実行委員会メンバー	10

アートフェア東京 エグゼクティブ・ディレクター ご挨拶

2011年よりドイツ銀行グループをメインスポンサーに迎え、今回で7回目となるアートフェア東京2012は、再び桜の季節に開催いたします。国内外160以上のギャラリーに参加、または協力頂き、古美術・工芸品から日本画・洋画、そして現代美術まで、時代とジャンルを超えた作品が展示販売されるアートフェア東京は、今回、規模を拡大し、展示ホール全面を使用します。

プログラムも更なる充実を図り、現代美術の実験的展示として2011年からスタートした「アーティスティック・プラクティス」は、時代とジャンルを超え、日本の美術の歴史を辿りながら古美術から現代の良品やプロジェクトに出会える特別なセクションに生まれ変わります。

また「アジアにおける東京」というビジョンの基、今年より新設した「ディスカバー・アジア」では、ソウル、台北、北京などのアジアの主要都市で評価の高いギャラリーが、美術館や世界で活躍する日本のギャラリーと共に軒を連ねます。

そして、会場を展示ホールに移動し開催する「PROJECTS」では、国際色豊かな若手ギャラリーが出展するだけでなく、ブースでは収まりきれない作品を展示する新セクション「project in PROJECTS」を設け、よりダイナミックな旬のアジア=パシフィックのアートと出会えます。

その他、食やファッションなどの他ジャンルとのコラボレーションや関連企画等、充実した新企画が満載のアートフェア東京2012。この機会に是非「アートを買う」楽しみを体験して下さい。

アートフェア東京 エグゼクティブ・ディレクター 金島隆弘



金島隆弘 Takahiro KANESHIMA

アートフェア東京エグゼクティブ・ディレクター（2010年6月1日就任）。FEC代表。東アジアにおける現代美術のリサーチプロジェクト、作家の作品制作支援、交流事業等を手がける。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修了。ノキア社、㈱東芝での勤務後、2005年より北京にて現代美術の仕事に携わる。東京画廊+BTAPの北京スペースの運営、ART iT 東アジア地区プロデューサーを経て現職。1977年東京都生まれ。

株式会社アートフェア東京 代表取締役社長 ご挨拶

震災による影響で開催が延期となったにも関わらず、アートフェア東京2011には133軒ものギャラリーが集結し、43,000人余りの皆様にご来場頂きました。また、アートを軸とした復興支援のプラットフォームとして、震災後の社会とアートとの関わりを示唆するようなトークイベントやチャリティプログラム等を多く開催することで、私たちの考える社会とアートとの関係性を深く提示出来たと考えております。

そして、2012年のアートフェア東京の開催にあたり、責任の所在を明確化するために私たちは組織体制を一新しました。また、他産業との連携をより深めることで2011年から掲げている「アートを開く」というテーマを更に発展させ、グローバルなアートの世界での日本の役割を世界に提示していきたいと考えております。

株式会社アートフェア東京 代表取締役社長 北島輝一



北島輝一 Kiichi KITAJIMA

野村証券株式会社、JPモルガン証券会社、三菱UFJ証券会社で金利トレーダーとして計11年間勤務。2011年10月、株式会社アートフェア東京代表取締役社長に就任。震災復興プロジェクトの立ち上げにも参加。慶應義塾大学大学院理工学研究科修了。1974年東京都生まれ。

Main Sponsor
Deutsche Bank Group



日本最大の美術見本市である「アートフェア東京」のメインスポンサーとして、昨年に引き続き協賛させていただくことになり大変光栄に思います。今年で7回目を迎える「アートフェア東京」が、アートの持つ大きな可能性を十分に引き出すことで、これまで以上に多くの人々の心に残る画期的な催しとなることを期待しています。

ドイツ銀行グループは、世界73カ国に拠点を有するグローバルな金融機関として、証券・投資銀行をはじめ商業銀行、資産運用など広範にわたる金融サービスを提供しています。その一方で、企業として社会的責任を果たすことの重要性を認識し、文化・芸術や教育をはじめとする幅広い社会貢献活動にも力を注いでいます。

文化・芸術の分野では、「Art works (アートを活かす)」を基本コンセプトに、アートと社会を繋ぐ様々な活動を支援しています。ドイツ銀行グループは、企業コレクションとしては世界最大規模となる5万6千点を超える現代アートを所蔵していますが、それらの作品を世界900箇所以上のオフィスに常設することで、従業員をはじめオフィスを訪れる方々が現代アートを身近に鑑賞できる環境を提供しています。さらに、美術館やその他機関からのご協力を得まして、若手芸術家の育成や子どもたちを対象とした教育プログラムの実施、コレクションのガイドツアー、オンラインマガジン「ArtMag」の発行など、多岐にわたる活動を展開しています。美術見本市におきましても、ロンドンのフリーズアートフェアや香港国際アートフェアのメインスポンサーを務めるなど、多角的な視点で支援しています。

この度、日本ならではの個性とクオリティを追求している「アートフェア東京2012」に参画できることを光栄に思うとともに、この見本市が多くの皆さまにとって意義深いものとなりますことを切に願っています。

最後に「アートフェア東京2012」の開催にご尽力いただいた関係各位に敬意を表するとともに、心より御礼申し上げます。

ドイツ銀行グループ
チーフ・カントリー・オフィサー
デイビッド・ハット



【名称】	アートフェア東京 2012 (英語表記: ART FAIR TOKYO 2012)
【主催】	アートフェア東京実行委員会
【運営】	株式会社アートフェア東京
【開催日程】	ファーストチョイス (特別内覧会) : 3月29日 (木) 16:00~18:00 オブニングプレビュー: 3月29日 (木) 18:00~21:00 一般公開: 3月30日 (金) 11:00~21:00 3月31日 (土) 11:00~20:00 4月1日 (日) 10:30~17:00 ※全日入場は終了30分前まで
【会場】	東京国際フォーラム 地下2階 展示ホール (5,000㎡)
【出展数】	計160軒 出展ギャラリー: 138軒 (うち[PROJECTS]: 25軒/[コンテンポラリージュエリー]: 3軒) 出展企業・パートナー: 9軒/協力ギャラリー: 13軒
【出展ギャラリー所在都市】	計24都市 (支店含む) 国内12都市 (東京、大阪、京都、名古屋、岐阜、柏、福岡、富山、川口、横浜、神戸、福山) 海外12都市 (ソウル、台北、北京、上海、香港、シンガポール、メルボルン、チョナン ニューヨーク、パリ、ベニス、モスクワ)
【出品内容】	古美術・工芸、日本画、近代絵画・彫刻、現代美術、写真、版画、ビデオ・アートの展示販売
【予想入場者数】	50,000人
【後援】	外務省/経済産業省/日本赤十字社/ドイツ連邦共和国大使館/オーストラリア大使館/ ブリティッシュ・カウンシル/在日フランス大使館/イタリア文化会館/駐日大韓民国大使館 韓国文化院/ 在日ロシア連邦大使館/スペイン大使館経済商務部/アメリカ合衆国大使館
【メインスポンサー】	ドイツ銀行グループ
【スポンサー】	メルセデス・ベンツ日本株式会社/アマナグループ/モンブラン GBU ジャパン/ワンピース倶楽部
【コラボレーティブパートナー】	株式会社テレビ朝日/株式会社ライゾマティクス
【ラウンジホスト】	AREA 株式会社 CROWN/株式会社ボーコンセプト・ジャパン
【パートナーエアライン】	全日本空輸株式会社
【コンシェルジュパートナー】	JTBロイヤルロード銀座
【特別協力】	ユーレンス現代美術センター/森美術館/サントリー美術館/東京都現代美術館/ポーラ美術館
【協力】	朝日酒造株式会社/株式会社 アルファコーポレーション/三菱地所株式会社/アークヒルズクラブ/ 六本木ヒルズクラブ/戸栗美術館/三菱一号館美術館/A.R.T./一時画伯/ 株式会社FINE LINE MEDIA JAPAN
【メインパートナーホテル】	ザ・キャピトルホテル 東急/パークホテル東京
【パートナーホテル】	ザ・ペニンシュラ東京/グランド ハイアット 東京/帝国ホテル東京/新橋愛宕山東急イン
【メインメディアパートナー】	日本経済新聞 電子版
【オフィシャルメディアパートナー】	art in culture/art in ASIA/Chinese Contemporary Art News/LEAP/Orientations
【エデュケーション・パートナー】	特定非営利活動法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT/エイト]
【入場料】	1-DAY パスポート 2,000円 (税込) ※1-DAY パスポートで、一般会期中の1日に限り自由に入退場が出来ます。 3-DAY パスポート 3,500円 (税込) ※3-DAY パスポートで、一般会期中自由に入退場が出来ます。 小学生以下無料 (但し大人同伴)
【前売りチケット】	1-DAY パスポート 1,500円 (税込) 3-DAY パスポート 3,000円 (税込) 発券期間: 1-DAYパスポート: 2012年2月1日~3月31日/3-DAYパスポート: 2012年2月1日~3月30日 チケットぴあ [Pコード: 1-DAY/パスポート764-971/3-DAY/パスポート764-972 Tel: 0570-02-9999] ローソンチケット [Lコード: 37634 Tel: 0570-000-777] セブンチケット [セブンコード: 014-468/全国のセブンイレブン店舗] JTB [JTB商品番号: 1-DAYパスポート0231464/3-DAYパスポート0231465 全国主要コンビニエンスストア e+ [http://eplus.jp/artfairtokyo/]

※入場料収入の一部を日本赤十字社に寄付します。

2012.02.08 現在

展示ホールの全面使用

7回目となる本年は、更に規模を拡大し、展示ホール全面を使用して開催します。昨年までロビーギャラリーに設けられていた現代美術の若手ギャラリーに特化したセクション「PROJECTS」も展示ホールに移動する他、新しいプログラムも予定されています。

アーティストック・プラクティス

2011年に現代美術の実験的展示としてスタートした本セクションを拡張し、「いつの時代にも、どんなジャンルにも、芸術的実験がある」というコンセプトの基、美術を軸にクリエイティビティを横断し、優れた作品やプロジェクトを幅広く紹介します。

1) 「シャッフルII」

昨年、白金のギャラリーコンプレックスで開催された山下裕二氏（明治学院大学教授）キュレーションによる「シャッフル」展。アートフェア東京2012では、山下氏をキュレトリアル・アドバイザーに迎え、その続編として「シャッフルII」を展開します。

■協力：清水三年坂美術館、古美術 祥雲、成山画廊、NANZUKA、羽黒洞、ギャラリー広田美術、宝満堂、ミヅマアートギャラリー、ロンドンギャラリー、YOKOI FINE ART

2) スペシャル・ビデオプログラム

東アジア地域のギャラリーから選りすぐりのビデオアートを集め、上映会を行う予定です。

■会期：2012年3月29日（木）・30日（金） ■会場：「アートフェア東京2012」会場内トーク会場

3) コンテンポラリージュエリー

gallery C.A.J.、ギャラリードゥポワソン、O-Jewelの3つのコンテンポラリージュエリーのギャラリーが出展します。

4) The 2012 Mercedes Benz Japan Art Car

中村哲也デザインによるパターンが施されたSLK350が特別展示されます。

■協力：メルセデス・ベンツ日本株式会社、ギャラリー小柳

5) リバースプロジェクト

伊勢谷友介率いる「リバースプロジェクト」が特別ブースにて展示を予定しています。

6) チームラボ

ウルトラテクノロジスト集団「チームラボ」（代表・猪子寿之）による特別ブースが出展されます。

ディスカバー・アジア

「アジアにおける東京」というビジョンの基、キュレトリアル・アドバイザーに南條史生氏（森美術館館長）を迎え、フェアの国際性とクオリティの更なる向上を目指して新設されるセクションです。

■出展画廊：ARARIO GALLERY（チョナン／北京／ソウル）、Chi-Wen Gallery（台北）、ONE AND J. GALLERY（ソウル）、PKM GALLERY（ソウル）、Gallery Skape（ソウル）、TKG+（台北／北京）

■協力（予定）：ユーレンス現代美術センター、森美術館、Vitamin Creative Space（広州／北京）、誠品画廊（台北）

project in PROJECTS

「PROJECTS」に出展する画廊の中からブース内では収まりきれないインスタレーションやパフォーマンスなどの作品を選考し、特別展示を予定しています。

■出展作家（予定）：Chim ↑ Pom（Project Fulfill Art Space 協力：無人島プロダクション）、山川冬樹（SNOW Contemporary）、Heath Franco（Tristian Koenig）、淀川テクニク（ユカリアート）ほか

他産業とのコラボレーション

アートフェア東京2012は、経済産業省が2011年度より実施している「CREATIVE TOKYO」に参画し、今春に開催される「TOKYO SPRING」の参加プログラムとして協業していきます。ジャパン・レストランウィーク、一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構とともに「TOKYO PREMIUM PROJECT」をたちあげ、「アート」「食」「ファッション」の3つのコンテンツを軸に、東京のクリエイティブシーンを広く盛り上げていきます。※関連企画の詳細は5・6ページをご参照ください。

<会期中プログラム>

アイデア&ソーツ

アーティストック・プラクティス「シャッフルII」の監修を行う山下裕二氏が日本の美について語るほか、震災とアートに関するシンポジウム、アーティスト・イン・レジデンスの可能性についてのシンポジウムなど、各団体と協力しながら、2012年のアートシーンをさまざまな角度から占めます。

■開催日：2012年3月31日（土）・4月1日（日）

■会場：「アートフェア東京2012」会場内トーク会場

※5本程度を計画中。

※現在、4月1日（日）午後1時より山下裕二氏（明治学院大学教授）と千宗屋氏の対談が決定しています。

ガイドツアー

古美術から現代美術までが一堂に会するアートフェア東京。会場を巡り、古今東西の美に触れ、アートの見方と買い方についてアートフェア東京2012エデュケーショナル・パートナーのNPO法人アーツイニシアティブトウキョウ [AIT/エイト] がご案内します。

■開催日：2012年4月1日（日）午前中～

■会場：「アートフェア東京2012」会場内

※4回程度開催予定。

キッズプログラム

メインスポンサーのドイツ銀行グループとの共同企画として、お子様を対象としたアーティストによるワークショップを開催予定です。

■開催日：2012年4月1日（日）

■会場：「アートフェア東京2012」会場内特設ブース

■プログラムパートナー：一時画伯

ベーコン・プライズ2012&TOKYO PRIZE 授賞式

「ベーコン・プライズ」は2008年に創設された若手アーティストを対象とした賞です。創設者、ジョニー・ウォーカー氏（A.R.T.のディレクター）の愛犬、ベーコンを偲んで名付けられたこの賞は、国籍にかかわらず日本で作品を発表した先進的で優れたアーティストに与えられます。第5回目となる「ベーコン・プライズ2012」はアートフェア東京2012に出展する40歳以下のアーティストの中から1名選出されます。

■開催日：2012年3月29日（木）21:00～23:00（予定）

■会場：ザ・ペニンシュラ東京 3階 ザ・グランドボールルーム

■主催：A.R.T.

■協賛：メルセデス・ベンツ日本株式会社、ザ・ペニンシュラ東京

■協力：アートフェア東京実行委員会

*授賞式は、ご招待客、プレスのみご参加いただけます。

*会場の収容人数に制限がございますので、授賞式をご取材の際は、事前にご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

<TOKYO PREMIUM PROJECT>

SOMARTA

一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構とのコラボレーションにより、廣川玉枝による「SOMARTA」の特設ブースの出展が予定されています。

アート@レストラン

ジャパン・レストランウィーク実行委員会の協力の基、約10名の日本人コレクターが所蔵する作品をアートフェア東京2012会場周辺のレストランに展示する予定です。

※各プログラムの詳細及び追加情報については随時、アートフェア東京ホームページなどでお知らせします。

関連／参加プログラム

<関連プログラム>

フレ・イベント

2012年の春は、首都圏の美術館やアートイベントが積極的に連携して文化発信を行う「東京アートウィーク 2012」が開催されます。その他に、アートフェア東京 2012 は、他の産業と連携しながら、トークやレクチャーなどを開催します。

1) アートフェア東京 2012 推奨レクチャー

アートフェア東京 2012 エデュケーショナル・パートナーのNPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT/エイト] が開講する現代アートの学校MAD (Making Art Different) が、アートギャラリーの仕事からアートフェアの可能性まで、アートマーケットに関するレクチャーを2012年1月30日(月)から3月8日(木)までの間に5回行います。

■講師：小山登美夫(小山登美夫ギャラリー)、ローゼン美沙子(MISAKO & ROSEN)、AITスタッフ、
金島隆弘(アートフェア東京)、吉野誠一(アートコレクター)

■会場：AIT ルーム:渋谷区猿楽町 30-8 ツインビル代官山 B-403 (2月25日は森アーツセンター、G-Tokyo 会場内)

■主催：特定非営利活動法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT/エイト]

■協力：アートフェア東京実行委員会

※お申込み方法・料金など詳細については、AIT ホームページ (www.a-i-t.net/ja/) をご覧ください。

2) TOKYO PREMIUM PROJECT 企画「アートフェア東京Xレストランウィークでしか聞けない、アート夜話」

今、世界では、ビジネスで財をなしたアート・コレクターと呼ばれる人々により、自らのコレクションを公開するための美術館設立ラッシュがおこっています。アートと経済は、どのように関わり合っているのか。なぜ、今、アートがこれだけ注目を集めているのか。表舞台ではなかなか聞けないその理由を探りにきませんか？

■日程：2012年2月12日(日)、2月19日(日)

■会場：レストランアイ (原宿、2月12日、SUNDAY (三宿、2月19日))

■主催：TOKYO PREMIUM PROJECT

■協力：アートフェア東京実行委員会、ジャパン・レストランウィーク実行委員会、
一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構

※お申込み・料金など詳細についてはジャパン・レストランウィークホームページ (jrw.jp/art/index.html) をご覧ください。

3) プレトーク

国内のギャラリストや専門家などをゲストに迎え、現代アートを古美術から紐解き、日本の美術の現在までの変遷を語り合います。

■日程：2012年3月24日(土)

■会場：SPACE NIO (日本経済新聞社東京本社 2F)

■主催：日本経済新聞社 クロスメディア営業局 (予定)

■協力：アートフェア東京実行委員会

※詳細及び追加情報については随時、アートフェア東京ホームページなどでお知らせします。

<参加プログラム>

東京アートウィーク 2012

首都圏の美術館やギャラリー、アートスペースがつながり、東京のアートシーンを華やかに寿ぐべく今年も桜の季節に開催される「東京アートウィーク 2012」に、アートフェア東京 2012 も昨年に引き続き参加予定です。

※詳細は東京アートウィークホームページ (tokyoartweek.com) をご覧ください。

資料 1 : 広報用画像

ここに掲載されている画像はアートフェア東京 2012 の出展予定作家の参考作品画像の一部です。
 この他、アートフェア東京オフィシャルウェブサイトの出展画廊ページでも広報用画像が掲載されております。
 過去の会場画像や、特定の広報用画像をご希望の方は、アートフェア東京事務局広報担当までご連絡ください。

ART FAIR
 TOKYO



Tsai Charwei
 «Tofu Mantra»
 2005
 © 2012 Charwei Tsai. Image courtesy
 the artist and TKG+, Taipei and Beijing



Son Donghyun
 «Portrait of the King»
 2008
 Gallery 2



岩井優
 «Old Japanese House - Introduction»
 2010
 ©Masaru Iwai
 Courtesy of Takuro Someya Contemporary Art



«和蘭 銅赤硝子輪花台鉢»
 17 世紀
 杉山 寧 画題使用
 ギャラリー柳井



山本大貴
 «Sound Around (hear no evil)»
 2011
 日動画廊



ロデル・タバヤ
 «The fright»
 2011
 Y++/ワダファインアーツ



ホリー・ファレル
 «Cookbooks»
 2009
 MEGUMI OGITA GALLERY



松岡 徹
 «八角堂人»
 2012
 GALLERY APA



歌川広重
 «名所江戸百景 大はしあたけの夕立»
 安政 4 年
 三田アート画廊



小林孝巨
 «Boat»
 2011
 西村画廊



名和晃平
 «Direction#5»
 2011
 SCAI THE BATHHOUSE



Osang Gwon
 «FUSE»
 2007-2008
 ARARIO GALLERY



«康熙黄釉龍文盤一对»
 康熙銘 (1662~1722)
 蕪山龍泉堂



Lee Bul
 «Untitled» 2007
 Courtesy the artist and PKM Gallery



KWAN Sheung Chi
 «One Million»
 2011 edition of 5
 Courtesy of Gallery EXT and the artist



ナカムラジン
 «観月紀»
 2011
 えすばすミラボオ

資料 2 : 出展者一覧



ギャラリー名 (英語・略)	ギャラリー名	ブース No.	都市	ギャラリー名 (英語・略)	ギャラリー名	ブース No.	都市		
A	Akatsu Berengo	Shintaro Akatsu Gallery / Berengo Studio	A10	東京/ベニス	Nishikawa	西川美術店	B07	東京	
	Ando	アンドーギャラリー	F09	東京	Nishimura	西村画廊	F03	東京	
	Aoyama Meguro	青山 目黒 OFFICE	F16	東京	Noda	NODA CONTEMPORARY	F07	名古屋	
	Apa	GALLERY APA	D13	名古屋	O	One and J.	ONE AND J. GALLERY	G05	ソウル
	Arario	ARARIO GALLERY	G01	チョナン/北京/ ソウル	P	Pkm	PKM GALLERY	G02	ソウル
	Art Lab	Art Lab TOKYO	D10	東京	S	Sagamiya	相模屋美術店	D06	東京
	Arte Classica	Arte Classica BY ISHIGURO GALLERY	B14	東京	Saibodo	彩鳳堂画廊	C15	東京	
	Aya	ギャラリーAYA	E01	東京	Saitama	埼玉画廊	E02	川口	
B	Bancho	番町画廊	A02	東京	Sankaibi	ギャラリーサンカイビ	A08	東京	
	Base	ベースギャラリー	F01	東京	Sankaido	三溪洞	C13	東京	
	Ben Ten	BEN TEN 452	C01	横浜	Scali	SCALI THE BATHHOUSE	F10	東京	
	Bohemian	ボヘミアンズ・ギルド	C10	東京	Seizan	靖山画廊	E07	東京	
C	Chi-Wen	Chi-Wen Gallery	G03	台北	Sen	澗画廊	E11	東京	
E	Egimi	ギャラリーまぎぬ	D05	岐阜	Shibuya Kuroda	しぶや黒田陶苑	B17	東京	
	Exhibition	エキジビション・スペース	D02	東京	Shihoudou	至峰堂画廊	C03	大阪/東京	
G	Ginza Artone	ギャラリー銀座アルトン	E08	東京	Shingendo	ギャラリー真玄堂	B19	東京	
	Ginza Kuroda	銀座 黒田陶苑	B15	東京	Shinseido	新生堂	A01	東京	
	Ginza Yanagi	銀座柳画廊	C18	東京	Sho	ギャラリー・ショウ・コンテンポラリー・アート	F04	東京	
	Gyokuei	ギャラリー玉英	A04	東京	Shukado	秋草洞	D07	東京	
H	Hera	原 古美術店	B16	福山	Shunpudo	春風洞画廊	C20	東京	
	H-art	ハートビート	D09	東京	Shunsei	瞬生画廊	A03	東京	
	Hirooka	ギャラリー広岡美術	C05	東京	Skape	Gallery Skape	G04	ソウル	
	Hirota	ギャラリー広田美術	A05	東京	St. Ives	ギャラリー・セントアイヴス	C02	東京	
I	Imura	イムラアートギャラリー	F11	京都/東京	Sachikudo	翠竹堂	B10	東京	
	Inoue	Yoshiaki Inoue Gallery	F08	大阪	Saha	翠波画廊	C09	東京	
	Inouye	井上オリエンタルアート	B06	東京	Sumisho	角匠	B11	東京	
	Isii	タカ・イシイギャラリー	F14	東京/京都	Taguchi	田口美術	E04	岐阜	
	Itsuki	いつき美術画廊	C16	東京	Taigado	大雅堂	C07	京都	
J	Jin Esprit+	Gallery Jin Esprit+	D16	東京	Taimel	泰明画廊	E10	東京/上海	
	Jin Projects	Gallery Jin Projects	D15	東京	Taiyo	太陽画廊	C04	大阪	
K	Kamiya	KAMIYA ART	C11	東京	Taménaga	ギャラリーためなが	E03	東京/パリ/大阪	
	Kashima	加島美術	B12	東京	Tanaka	美術工藝 丹中	B03	大阪	
	Khankhalaev	Khankhalaev Gallery	D18	モスクワ	Tazu	画廊たづ	C14	京都/名古屋	
	Kishimoto	岸本画廊	C08	東京	Tezukayama	TEZUKAYAMA GALLERY	F13	大阪	
	Kobayashi	小林画廊	E12	東京	Third Aya	The Third Gallery Aya	F17	大阪	
	Kochukyo	ギャラリーこちゅうきょ	B13	東京	TKG+	TKG+	G06	台北/北京	
	Kogure	GALLERY 小暮	E14	東京	Togeisha	Gallery Togeisha	B01	東京	
	Komyama	小宮山書店	C12	東京	Toho	東郷アート	C06	東京	
	Koyama	小山登美夫ギャラリー	F19	東京/京都	Tokyo	東京画廊+BTAP	F12	東京/北京	
	Kugo	ギャラリーくご	D04	高山	Tolman	ザ・トルマン コレクション	A09	東京/香港/ シンガポール/ニューヨーク	
	Kunimatsu	画廊くにまつ	D03	京都/東京	Tomura	ギャラリー戸村	D14	東京	
M	Marunouchi	丸の内ギャラリー	F02	東京	Tsubaki	椿近代画廊	E09	東京	
	Mayuyama	蘭山龍泉堂	B18	東京	Uragami	浦上蒼穹堂	B09	東京	
	Minazuki	GALLERY 水無月	D11	岐阜	W	Watanabe Mokuhan	渡邊木版美術画廊	D01	東京
	Mita	三田アート画廊	B23	東京	Watanabe Sampo-do	渡邊三芳堂	B04	東京	
	Mitochu	水戸忠交易	B08	東京	Y	Y++	Y++/ワグファインアーツ	F05	東京/北京
	Miyashita	古美術宮下	B05	東京	Yamamoto	山本現代	F18	東京	
	Mizoe	みぞえ画廊	D17	福岡	Yamaehta	山下画廊	C19	東京	
	Murakoshi	村越画廊	E13	東京	Yanagase	柳ヶ瀬画廊	A06	岐阜	
N	Nagoya	名古屋画廊	A07	名古屋	Yanai	ギャラリー柳井	B22	東京	
	Nakacho	中辰小西	B21	東京	Yasaka	弥栄画廊	C17	名古屋	
	Nanaya	古美術 奈々八	B02	東京	Yorozu	万両画廊	D12	名古屋	
	Nca	nca nichido contemporary art	E06	東京	Yoshimi Gallery	吉美画廊	C21	大阪	
	Neutron	neutron	F06	京都/東京	Yufuku	酉福ギャラリー	B20	東京	
	Nichido	日動画廊	E05	東京/名古屋/ 福岡/パリ	Z	Zokuyudo	蔵丘洞	D08	京都

PROJECTS

ギャラリー名 (英語・略)	ギャラリー名	ブース No.	都市	ギャラリー名 (英語・略)	ギャラリー名	ブース No.	都市		
123	2	Gallery 2	P23	ソウル	O	Ogita	MEGUMI OGITA GALLERY	P06	東京
A	Aratanurano	ARATANIURANO	P25	東京	Ohshima	Ohshima Fine Art	P16	東京	
B	B	B-gallery	P10	東京	P	Project Fulfill	Project Fulfill Art Space	P22	台北
Bambinart	パンピナート	ギャラリー	P17	東京	R	Roid	ロイドワークスギャラリー	P14	東京
C	COHJU	COHJU contemporary art	P15	京都	S	Snow	SNOW Contemporary	P18	東京/シンガポール
D	Dmo	DMO ARTS	P07	大阪	Someya	Takuro Someya Contemporary Art	P03	東京/柏	
E	En Arts	eN arts	P02	京都	Suchi	Gallery Suchi	P13	東京	
Exit	Exit	Gallery EXIT	P24	香港	U	Utopian	Utopian Slumps	P01	メルボルン
H	hggrp	hggrp GALLERY 東京	P04	東京	Y	Yamaki	ギャラリーヤマキファインアート	P08	神戸
I	Island	island JAPAN	P19	東京/柏	Yod	YOD Gallery	P05	大阪	
K	Koenig	Tristian Koenig	P21	メルボルン	Yoshimi Arts	Yoshimi Arts	P09	大阪	
M	Mirabeau	えすばすミラボオ	P11	東京	Yukari	ユカリアート	P20	東京	
N	Norton	ノートンギャラリー	P12	東京					

コンテンポラリー ジュエリー

ギャラリー名 (英語・略)	ギャラリー名	ブース No.	都市	ギャラリー名 (英語・略)	ギャラリー名	ブース No.	都市	
C	Caj	gallery C.A.J.	J02	京都	O	O-Jewel	J03	東京
D	Deux	ギャラリドゥポワソン	J01	東京				

出版パートナー

出展名 (英語・略)	出展名	ブース No.	都市	ギャラリー名 (英語・略)	ギャラリー名	ブース No.	都市	
M	Mori	森美術館	G07	T	Teamtab	チームラボ	G11	
R	Rebirth Project	リバースプロジェクト	G09	U	UCCA	ユークレス現代美術センター	G10	
S	Somarta	SQMARTA (一般社団法人日本ファッション・ウェア・アクセサリー)	G08					



*横位置のデータもごさいます。ご使用の際は別途アートフェア東京事務局広報担当までご連絡ください。

<ボードメンバー>

金島隆弘	アートフェア東京ボードメンバー代表
北島輝一	アートフェア東京ボードメンバー副代表
白石正美	SCAI THE BATHHOUSE
山本豊津	東京画廊+BTAP

<アート・コミッティ>

■ギャラリーメンバー

*姓名のアルファベット順

荒谷智子	ARATANIURANO
廣田登支彦	ギャラリー広田美術
今津浩太	瞬生画廊
井村優三	イムラアートギャラリー
井上雄吉	井上オリエンタルアート
石井孝之	タカ・イシイギャラリー
黒田耕治	しふや黒田陶苑
西川英治	西川美術店
野呂好彦	銀座柳画廊
浦野むつみ	ARATANIURANO
山本裕子	山本現代

■アーティストック・ネイバー

*姓名のアルファベット順

ホン・ボラ	ギャラリー・ファクトリー ディレクター (ソウル)
フー・ファン (胡昉)	ビタミン・クリエイティブ・スペース アーティストック・ディレクター、小説家 (広州/北京)
宮津大輔	サラリーマン・コレクター (東京)
ツェン・ルディー (曾文泉)	アートコレクター (台北)

<事務局>

金島隆弘	エグゼクティブ・ディレクター
北島輝一	マネージング・ディレクター
小澤慶介	アソシエイト・ディレクター
市川靖子	マーケティング・マネージャー
川崎陽子	コーポレート&VIP リレーションズ
上野絵里子	PR&インターナショナル・コミュニケーションズ
武居恵泉	ショウ・マネージャー
鈴木慶子	アシスタント・ショウ・マネージャー
森田剛史	ショウ・マネージメント

お問合せ

アートフェア東京実行委員会事務局 広報担当 市川/上野

〒106-0031 東京都港区西麻布 1-9-11

Tel: 03-5771-4520 Fax: 03-3401-8038 E-mail: press@artfairtokyo.com